

〈要約〉

住宅地に消えた葛飾の地形

The topography of Katsushika disappeared by changing into the residential area

遠藤 ユウキ
Yuuki Endo

本稿は、葛飾区の地形に関する昔話や伝承、都市伝説を再発見するとともに紹介をするものである。

葛飾区は、東京 23 区の内最も北東に位置し、川はあるものの海も山もないほぼ平坦な地形である。さらに、地盤沈下と土盛りで地面の起伏は不明瞭となり、耕地整理、区画整理によって古道の道筋は変わり、水路は埋め立てられ、昔の地形は住宅に覆われて消えていった。

葛飾区に伝わる昔話や伝承の中には、かつての葛飾区には海も山も存在したという驚くべき話があり、都市伝説の中には、隠された理由によって放水路や区役所庁舎が計画されたという話がある。そして、その話にまつわる構造物や地形が残っている可能性があるのだ。信憑性の低い話ではあるが、「まち歩き」的にはとても興味深い話なので、以下の話を紹介する。

- 昔話「宝船伝説」
- 都市伝説「荒川放水路にトンネルを掘ってはならない」
- 都市伝説「葛飾区役所は高床式」
- 住宅地に消えた謎の堤防「築廻し」
- 幻の「二上山」